

第4回日本子ども虐待医学研究会 学術集会 プログラム

第1日（8月4日 土曜日）

理事会（8:45～10:15、会議室にて）

一般演題 A（10:30～11:45）

座長 毎原敏郎（兵庫県立塚口病院 小児科）

A-1

周産期から小児科まで継続的に関わる MSW の役割
井上美智子（兵庫県立塚口病院 MSW ・PSW）

A-2

児童養護施設で生活している慢性疾患を持つ被虐待児への看護師によるセルフケア援助
橋倉尚美（愛仁会高槻病院 小児病棟看護師）

A-3

警察・児童相談所とともに受診した家族の事例についての一考察
中村富美江（日本私立学校振興・共済事業団 東京臨海病院 小児科外来看護師）

A-4

要保護児童対応クリニカルパスの運用～連携の円滑化を目指して～
柿沢有希子（富山県立中央病院 小児病棟看護師）

A-5

育児期母親における母性意識の高低と局所脳活動の関係
佐々木綾子（大阪医科大学 看護学部看護学科）

ランチオンセミナー1（12:00～12:45）

共催：日本イーライリリー株式会社

座長 宮坂実木子（国立成育医療研究センター 放射線診療部）

児童虐待の画像診断 ～Part 1 総論と骨損傷について～
小熊栄二（埼玉県立小児医療センター 放射線科）

一般演題 B (13:00～14:15)

座長 山田不二子(日本子ども虐待医学研究会 事務局長)

B-1

被虐待児として保護せざるを得なかった2症例

加藤美穂子(あいち小児保健医療総合センター 脳神経外科)

B-2

被虐待児の歯科検査事例

都築民幸(日本歯科大学生命歯学部歯科法医学センター、杏林大学医学部法医学教室)

B-3

SBSの眼底所見とその傾向

中山百合(国立成育医療研究センター 眼科)

B-4

乳幼児の急性硬膜下血腫と受傷機転に関する検討

～自白、裁判を通して認定された虐待症例との比較～

横田千里(国立病院機構大阪医療センター 脳神経外科)

B-5

小児虐待による頭部外傷の現況

～頭部外傷を全例受け入れている施設での検証～

山中 巧(愛仁会高槻病院 小児脳神経外科)

教育講演1 (14:30～15:30)

座長 荒木 尚(日本医科大学 救急医学)

乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)における頭部外傷メカニズム

～転倒・転落事故による頭部外傷とのメカニズムの違いとは～

宮崎祐介(東京工業大学 大学院 情報理工学研究科 情報環境学専攻)

教育講演2 (16:00～17:00)

座長 星野崇啓(国立武蔵野学院)

子育て支援の意義を確認する ～子ども虐待といやされない傷～

友田明美(福井大学 子どものこころの発達研究センター)

特別講演 (17:15～18:00)

座長 松岡太郎(豊中市保健所/市立豊中病院 小児科)

鷺尾祥子(淀川キリスト教病院 看護部 専門看護師・認定看護師室)

必死のPATCH! で乗り越えて…

桂 雀々(落語家)

第2日 (8月5日 日曜日)

評議員会 兼 総会 (8:45～9:15)

パネルディスカッション (9:30～12:00)

座長 溝口史剛(済生会前橋病院 小児科)

白石裕子(日本看護協会 看護研修学校)

院内 CPT が、地域と連携して、子ども虐待を早期発見・予防するために

1. 東京都立小児総合医療センターにおける児童虐待への取り組み
菊地祐子(東京都立小児総合医療センター 家族支援部門 心理福祉科)
2. 相模原協同病院における虐待防止委員会の現状・課題
杉谷雅人(相模原協同病院 脳神経センター)
3. 釧路赤十字病院における子ども虐待予防体制について
土屋まゆみ(釧路赤十字病院 小児病棟看護師長/小児救急看護認定看護師)
4. 東京都立墨東病院における虐待対応システムの現況
稗田 潤(東京都立墨東病院 虐待対策検討委員会、医療相談係)
5. 国保松戸市立病院小児医療センターにおける CPT の取り組み
小橋孝介(鴨川市立国保病院 小児科)
6. 中国労災病院における児童虐待対策委員会の立上げと活動
～現状と課題、とくに広域ネットワークの必要性について～
小西央郎(中国労災病院 児童虐待対策委員会、小児科)
7. 当院 CPT「旭中央病院家族支援チーム(Family Support Team:FAST)」について
仙田昌義(総合病院国保旭中央病院 小児科)
8. 市立豊中病院における児童虐待対策委員会の取り組み
徳永康行 (市立豊中病院 小児科)

ランチオンセミナー2 (12:15～13:00)

座長 本山景一(茨城県立こども病院 小児総合診療科)

児童虐待の画像診断 ～Part 2 画像診断から見た Abusive Head Trauma (AHT)～

相田典子(神奈川県立こども医療センター 放射線科)

一般演題 C (13:30～14:45)

座長 岡田邦之(おかだこどもの森クリニック)

C-1

当院における児童虐待防止対策～周産期からの取り組み～

中村哲生(大阪市立住吉市民病院 産婦人科)

C-2

被虐待児が転居するとき ～圏域を越えた連携の必要性について～

毎原敏郎(兵庫県立塚口病院 小児科)

C-3

舌喉頭矯正術による夜泣き改善と母子心中回避事例

山本伊佐夫(神奈川歯科大学社会歯科学講座法医学分野)

C-4

将来の医療従事者への虐待に関する教育

岩原香織(日本歯科大学生命歯学部歯科法医学センター、杏林大学医学部法医学教室)

C-5

当院における性虐待被害事例の検討

～性暴力救援センター・大阪での取り組みを加えて～

楠本裕紀(阪南中央病院 産婦人科)

性虐待被害児診察研究会 (15:15～17:15)

共催:社会福祉法人 子どもの虐待防止センター